



## 参議院議員 島村 大 レポート

9月号 vol.7

### ～参議院 ODA 調査派遣報告～

2014年9月18日

発行元：自民党神奈川県参議院選挙区第三支部

参議院では、ODA（政府開発援助）調査のため、途上国への議員派遣を毎年行っています。地域別に4つの班に分かれ、私は第3班の南アジア・東南アジアのチームに所属して**フィリピン、ベトナム、モルディブ、カンボジア**の4カ国を視察してきました。

8月19日（火）から8月28日（木）の日程で、メンバーは自民党から猪口邦子議員と私の2名、民主党から榛葉賀津也議員、公明党の平木大作議員、維新の会から儀間光男の計5名。各地で日本が支援する事業を視察したほか、要人との面会や、現地で活躍するJICA（国際協力機構）の専門職員や青年海外協力隊員などとの意見交換も行いました。

#### 【フィリピン共和国：8/19（火）～21（木）】

最初の訪問国であるフィリピンでは、①フィリピン気象天文庁気象洪水予報センター（気象観測能力の強化について支援）、②フィリピン国家警察（指紋自動識別システムの整備を支援）、③レイテ島・タクロバンのタクロバン空港、東ビサヤ地域医療センター、パロ・アラド小学校等（昨年11月の台風被害を受け、災害緊急復旧・復興を支援）を視察しました。



割れたままの窓ガラス



長時間待ちの多くの患者さん

#### 東ビサヤ地域医療センター

高血圧等の慢性疾患や結核、心的外傷などが多く見られるとのこと。慢性疾患はミリエンダ（間食）の習慣に起因するとも考えられ、食生活改善に向けた取組の必要性を感じました。また、歯科医師は3名在籍しているそうです。

#### 【ベトナム社会主義共和国：8/21（木）～23（土）】

二番目の訪問国であるベトナムでは、①ワクチン・生物製剤研究・製造センター（麻疹風疹混合ワクチンの製造技術を支援）、②ハノイ市環状3号線の建設現場（日本の支援により建設中）、③イエンソー排水ポンプ場（水の環境改善について支援）、④ノイバイ国際空港第二旅客ターミナルビル（建設を支援）、⑤玉田工業株式会社（本社：石川県。中小企業の海外展開支援として、ガソリンスタンドでの二重殻タンクの普及・実証事業を実施中）などを視察しました。

また、青年海外協力隊との意見交換会が催され、看護師と作業療法士の隊員に話を聞きました。日頃の活動に敬意を表するとともに、医療保険をはじめとするベトナムの医療提供体制に質問したところ、「医療保険の制度はあるが、外資系等の病院で自費診療を受ける人も多い」との回答でした。弱者救済のためという考え方が主流で、保険診療では十分な医療を受けられないとの認識があるようです。他方、国民の誰もが安心安全で同水準の医療を受けられる日本の皆保険制度。世界でも極めて優れた制度であることを再認識しました。



ワクチン研究センターで意見交換



国際空港拡張工場の現場



ヴィン計画投資大臣表敬

また、ブイ・クアン・ヴィン計画投資大臣との面談の機会にも恵まれました。私は、唇顎口蓋裂に関するベトナムへの医療協力の経験から、常々ベトナムの歯科医師は勤勉で向上心が高く手先が器用と認識しています。大臣に対し、心から「今後とも日本とベトナム両国の医療の発展のため尽力したい」と申し述べました。

### 【モルディブ共和国：8/23（土）～26（火）】

三番目の訪問国であるモルディブは、今回が参議院のODA調査団として初めての派遣でした。日本の支援により建設され、平成16年のスマトラ沖大地震・インド洋大津波から首都を守ったマレ島護岸、津波被害からの復興事業で整備を支援した船着場、校舎を建設し、クリーンエネルギー促進の支援を行ったヒリア小・中学校、さらに青年海外協力隊日本語教師の活動などを視察しました。



日本語の授業に参加



マレ島に向かう前、クルンバ・モルディブで

### 【カンボジア王国：8/26（火）～27（水）】

最後の訪問国であるカンボジア王国では、①カンボジア地雷除去センター（シェムリアップで地雷除去の機材整備を支援）②アンコール・ワット及びバイヨン寺院（遺跡修復を支援）を視察しました。



地雷除去活動を体験

地雷埋没の調査は国土の7割が終了したものの、安全なエリアの割合は不明確。

#### \* 今回の調査派遣の意義と所感 \*

日本のODAは、多くの関係者のご尽力により非常に高く評価されていることを実感しました。一方で各国の様々な事情や諸外国間の調整が十分図れず、なかなか進まない事業があることも認識。また、青年海外協力隊の熱心な隊員達は、帰国すれば就職難の問題があるといえます。

このたびの貴重な体験を踏まえ、国会の委員会等での議論を通じ、ODAがさらに発展途上国にとって有効なものとなるよう、また、携わる方々のサポート体制についてもしっかりと取り組んで参る所存です。

ベトナムでは、計画投資大臣からODAに関する不正事案について「隙間のない法的体制を構築し、会計検査も頻繁に実施して再発を防止する」旨の発言を得ました。このことは参議院ODA調査派遣としても大きな成果です。今後も立法府として、政府に対するチェック機能を十分に果たして参りたいと思います。